J-STAGE　Web API 利用規約改定　新旧対照表

改定前（旧）	改定後（新）	備考
J-STAGE WebAPI 利用規約	J-STAGE WebAPI 利用規約	
国立研究開発法人科学技術振興機構（以下「機構」という。）が提供する科学技術情報発信・流通システム（以下「J-STAGE」という。）のアプリケーション・プログラミング・インターフェース（以下「本API」という。）により提供される情報を利用するにあたっては、本APIの利用者（以下「本API利用者」という。）は、本規約のすべての条項に同意いただくことが必要です。なお、本規約の他、J-STAGE閲覧規約にも同意する必要があります（閲覧者にも必ずその旨周知してください）。営利目的の方は利用申請の提出をもって、本規約の内容に同意したものとみなされます。なお、J-STAGEに掲載される論文等各記事の著作権は原則として電子ジャーナルの発行機関（学協会等）に帰属するものとします。 記	平成２２年１０月２８日制定 平成３０年４月１９日改定 令和６年６月１１日改定 （令和６年７月９日施行） この規約（以下、「本規約」といいます。）は、国立研究開発法人科学技術振興機構（以下、「JST」といいます。）が運営する科学技術情報発信・流通総合システム（以下、「J-STAGE」といいます。）において提供される「J-STAGE Web API」（以下、「本サービス」といいます。）を利用するにあたり、遵守すべき事項について定めるものです。 本サービスの利用者は、本規約に定める利用条件の下で、J-STAGE に登載されている情報の一部をアプリケーション・プログラミング・インターフェース（以下、「API」といいます。）により入手し、利用者が運営する Web サイト、アプリケーション又はその他のサービス（以下、「利用者運営サービス」といいます。）でご利用いただくことができます。	
	第１条（適用） 本規約は、利用者における本サービスの利用にかかる一切の行為及び利用者と JST との間の一切の関係に適用されるものとします。利用者は、本サービスの利用をもって、本規約に同意したものとみなします。 ２　利用者に関する個人情報等の取扱いについては、別途定める J-STAGE プライバシーポリシーが適用されるものとします。	
第１条 使用許諾 １．機構は、本 API 利用者に対し、本規約を遵守することを条件として、本 API により提供される情報（以下「本 API 提供情報」という。）を、非独占的に利用できる権利（以下「本 API 利用権」という。）を許諾する。 ２．機構は、理由の如何を問わず、その裁量によりいつでも、本 API 利用者に事前に通知することなく、前項に基づき許諾した本 API 利用権を終了させることができるものとする。	（削除）	改正民法に合わせた改定。

第２条 利用形態に関する条件 １．非営利目的の場合、機構への利用申請なしで利用できる。 ２．営利目的の利用の場合、有償／無償に関わらず、利用によって提供するサービス等について利用申請（所定の様式）を、事前に機構へ提出し、機構の承認を受けること。機構は、その裁量により、かかる利用申請を拒絶することができるものとする。利用申請のおもな記載事項は以下の通り。 （１）申請者の氏名、所属、連絡先 （２）構築主体（組織名称等） （３）名称 （４）内容・目的・利用形態、有償／無償の別 （５）IP アドレスおよび URL（URL がない場合はサービス内容を確認できる手段） ３．機構は、申請内容の確認やサービス改善等の目的で申請者へのヒアリングを行うことがある。	第２条（利用申請手続） 本サービスにより入手した API（以下、「本 API」といいます。）を非営利目的で利用するときは、JST への利用申請は不要です。 ２　本 API を営利目的で利用するときは、有償／無償に関わらず、JST への利用申請が必要です。あらかじめ JST 所定の様式及び方法にて JST へ利用申請を行い、JST の承認を受けなければなりません。利用申請の際には、主に以下の情報をご提供いただくものとします。 （１）申請者の氏名、所属、連絡先 （２）利用者運営サービスの事業者名 （３）利用者運営サービスの名称 （４）利用目的、利用者運営サービスの内容、利用態様 、有償／無償の別 （５）リクエスト元 IP アドレス（固定 IP アドレスではない場合はその旨を利用申請書に記載すること）及び URL（URL がない場合は利用者運営サービスの内容を確認できる手段） ３　JST は、前項に定める利用申請の内容（以下、「申請内容」といいます。）について、次の各号のいずれかに該当すると判断したときは、当該申請を承認しないことがあります。 （１）申請内容に虚偽が認められる場合 （２）過去に本規約違反に基づく、利用制限等の措置を受けたことが判明した場合 （３）利用者運営サービスが第３条第７項各号のいずれかに該当する場合 ４　JST は、申請内容の確認又は J-STAGE におけるサービス改善等の目的で、申請者に対しヒアリングを行うことがあります。	改正民法対応
	第３条（利用条件） 利用者は、本サービスの利用にあたり、本規約のほか J-STAGE 閲覧規約の内容も遵守するとともに、利用者運営サービスで提供するサービス及びアプリケーションの利用者に対し本規約の存在を表示し、遵守させるものとします。 ２　利用者は、本 API を利用したことにより得られた情報（以下、「本 API 提供情報」といいます。）を利用者運営サービス上に表示することができます。 ３　利用者は、JST と利用者の関係について虚偽又は誤認混同させるような表示や、第三者が当該利用者運営サービスと J-STAGE を誤認混同するような方法又は態様において利用してはなりません。また、利用者は、利用者運営サービスの主たるコンテンツとして本 API を組み込まないものとします。 ４　利用者は、本 API　提供情報に付されている権利者情報（以下、「クレジット」といいます。）を、第９条の定めに従い表示するときは、当該クレジットの全部又は一部について改変・切除等を行うことなく利用者運営サービスに表示させるものとします。 ５　利用者は、本 API 提供情報を機械可読な状態でサーバもしくはクラウド等	

	に 24 時間以上保存又はキャッシュしないものとします。 ６　利用者は、本 API 提供情報の更新状況に常時留意し、常に J-STAGE 内の最新の情報を利用者運営サービス上で表示しなければなりません。 ７　利用者は、以下の内容を含む利用者運営サービスにおいて、本 API を利用しないものとします。 （１）　グロテスク、その他過度に残虐または暴力的なもの （２）　性に関する表現で、わいせつな行為・対象を連想させるもの、露骨な性描写のあるもの （３）　人種・性別・宗教・国籍・身体障害・性的嗜好又は年齢等による差別的なもの （４）　法令に違反し、又はそのおそれのあるもの （５）　公序良俗に反し、又はそのおそれのあるもの （６）　他人（JST を含みます。以下同じです。）の知的財産権、プライバシー、その他の権利を侵害するもの （７）　真実でないもの （８）　コンピューターウィルス等ソフトウエア、ハードウエアまたは通信機器等の適切な動作を妨害、破壊もしくは制限し、またはそのおそれのあるもの （９）　その他 JST が合理的な判断に基づいて不適当と判断したもの	
第３条 禁止事項 本 API の利用について、機構は以下の行為を禁止する。本 API 利用者がこれらの禁止行為を行った場合、機構は、事前に通知することなく、当該行為を排除するとともに、その他必要な措置を講ずることができるものとする。 １．本 API 利用者は、誹謗中傷、名誉・信用毀損、その他機構または第三者の権利を害する方法または態様で、本 API および本 API 提供情報を利用しないものとする。 ２．本 API 利用者は、本 API または API 提供情報のいずれかに表示されまたは含まれる特許権、著作権、商標権その他の知的財産権の一切の表示を除去、隠蔽、または変更しないものとする。 ３．本 API 利用者は、法律、政令、規則、条例、国または機構が定めるその他の規定等（以下「法令等」という。）に違反する方法または態様で本 API または本 API 提供情報を利用しないものとする。 ４．本 API 利用者は、本 API および本 API 提供情報を、本規約によって明確に許諾されている範囲を超えた利用をしないものとする。また、本 API 利用者は、機構と本 API 利用者の関係について虚偽のまたは誤認混同させるような表示や、アプリケーションの閲覧者がアプリケーションと J-STAGE を誤認混同す	第４条（禁止行為） JST は、本サービスに関し、利用者による以下の行為を禁止します。 （１）　本規約又は J-STAGE の運営に関わる規約・ポリシー類に違反する行為 （２）　法令もしくは公序良俗に反する行為又はそのおそれのある行為 （３）　他人の知的財産権、プライバシー、その他の権利を侵害する行為、又はそのおそれのある行為 （４）　他人を誹謗中傷し、又はその名誉・信用を毀損する行為又はそれらのおそれのある行為 （５）　他人の業務を妨害する行為、又は他人に迷惑、不利益等を与える行為、又はそれらのおそれのある行為 （６）　本規約に定める本サービスの目的を逸脱した目的で本サービスを利用する行為 （７）　本サイトにより得た研究者情報等を利用して、製品・サービス等の広告や宣伝等の営利活動、政治活動及び宗教活動に基づく勧誘等を目的とする行為 （８）　関連するシステム、プログラムに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル又はソースコードを抽出する行為もしくは抽出を試みる行為 （９）　不正アクセス行為、不正アクセスを試みる行為そのほか本サービスに	

るような方法または態様による利用をしないものとする。また、本 API 利用者は、本 API 利用者の主たるコンテンツ（専ら本 API の提供を目的とするウェブサイト等）として本 API を組み込まないものとする。 ５．本 API 利用者は、本 API を通して取得した情報を機械可読な状態で本 API 利用者のサーバ等に 24 時間以上保存またはキャッシュしないものとする。 ６．本 API 利用者は、以下の内容を含むサイトやアプリケーション上またはアプリケーション内で、本 API または本 API 提供情報を利用しないものとする。 （１）公序良俗・法令等などに違反し、またはそのおそれのある表現 （２）機構または第三者の知的財産権、プライバシー権、肖像権その他の権利を侵害しているもの （３）コンピューターウィルス等ソフトウエア、ハードウエアまたは通信機器等の適切な動作を妨害、破壊もしくは制限し、またはそのおそれのあるもの （４）機構または第三者の名誉または信用を傷つけるもの （５）その他機構が不適当と判断するもの	過度な負荷をかける行為もしくはウイルス等に感染したファイルを送信する行為又はそれを試みる行為 （１０）機械的及びそれに準じた手段を用いて本サービスに掲載する情報を大量にダウンロードする行為又はそれを試みる行為 （１１）本サービス、その他の JST の事業運営に支障をきたすおそれのある行為 （１２）その他、JST が不適切と合理的に判断する行為	
第４条 JST の権限 １．機構は、本 API 利用者のアプリケーション上もしくはアプリケーション内のリンクの品質と信頼性を確保するために必要と判断したとき、または、法令等もしくは本規約の遵守、機構、本 API 提供情報のユーザーその他第三者の権利・財産・安全等を確保するために必要と判断したときには、本 API 利用者のアプリケーションをクロールその他の方法でモニターし、機構が必要と考えるその他の措置をとることができるものとする。 ２．機構は、本 API の運用上必要と判断した場合には、事前に通知することなく、本 API 利用者による本 API の利用に一定の制約（たとえば本 API へのアクセス回数・アクセス時間の制限、本 API 用の URL または本 API 提供情報へのアクセス制限など）を設けることができるものとする。 ３．機構は、本 API 利用者に対し、本 API によって提供された本 API 提供情報の掲載の中止を求めることができ、本 API 利用者は、機構から求められた場合には、直ちに当該情報の掲載を中止するものとする。 ４．機構は、本サービスの組み込み方法などについて、個別に答えることはしない。	第５条（サービスの制限、停止又は中止） JST は、本サービスの維持、補修その他必要があると認めるときは、事前に告知した上で、本サービスの全部又は一部にかかる一定の制限（本 API へのアクセス回数及び時間の制限、本 API 提供情報へのアクセス制限等を含みますがこれらに限られません。）、運用の停止又は中止を行うことができるものとします。ただし、緊急を要する場合は、JST は事前告知をすることなく、これらを行うことができるものとします。 第６条（サービスの変更又は終了） JST は、原則としてあらかじめ利用者に告知したうえで、本サービスの内容を変更することができるものとします。本サービスの内容の変更に伴い、本規約の変更が必要な場合には、第 13 条に定める手続きにより本規約が変更されるものとします。 2　JST は、やむを得ない緊急の必要がある場合を除き、事前に JST が適当と認める方法により告知したうえで、本サービスを終了する場合があります。	改正民法対応
第５条 本 API の提供の停止、中断、終了 １．機構は、事前に通知することなく、本 API 利用者に対する本 API の全部または一部の提供を停止または中断することができるものとする。 ２．機構は、その裁量によりいつでも、事前に通知することなく、本 API の提供を終了させることができるものとする。	第７条（アクセス制限等） JST は、利用者による本規約違反があったと判断したときは、当該利用者による本サービスの利用を停止又は制限その他適当と判断する措置を講ずることができます。 ２　JST は、前項に加えて、当該利用者に対し、本 API 提供情報の削除を求めることができるものとします。当該利用者はこれに従い、直ちに当該情報	改正民法に合わせた改定。

	の削除を行わなければなりません。 ３　営利目的による利用者が第２条第２項に定める利用申請による JST の承認を得ることなく本サービスを利用した場合には、JST は、当該利用者の IP アドレス等に基づいて当該利用者による本サービスの利用を停止し又は利用制限を行う場合があります。また、JST は、当該利用者からの本サービスに関する問い合わせには応じません。	
第６条 個人情報 本 API 利用者の申請情報等に含まれる個人情報は、国立研究開発法人等の保有する個人情報の保護に関する法律および機構が別途定めるプライバシーポリシーに則り、J-STAGE または本 API もしくは本 API 提供情報の適切かつ円滑な提供・サービス改善のために使用するものとする。	第１条（適用）に移動	
第７条 知的財産権 １．本 API およびその実行結果に関する権利の全ては、機構に留保されるものとする。また、J-STAGE の登載コンテンツの著作権は、原則として発行機関に帰属する。 ２．本 API 利用者は、本 API 利用者のアプリケーション上またはアプリケーション内に表示される J-STAGE 内の情報が、機構より提供されたものである旨を表示（以下「J-STAGE クレジット」という。）するものとし、J-STAGE へのリンクを生成するものとする。 ３．本 API 利用者は、JST クレジットを、機構のイメージを毀損するような態様、アプリケーションの閲覧者に対して機構と本 API 利用者の関係について誤認混同させるような態様、または機構と本 API 利用者が提供するサービスについて誤認混同させるような態様では一切利用しないものとする。	第８条（知的財産権） 本サービスに関する名称、商標、商号、ロゴ、ドメイン名、その他本サービスにより提供される著作物等、これらに係るすべての知的財産権その他一切の権利は、JST 又は権利を有する第三者に帰属します。利用者は、法律上認められている場合を除き、これらの権利者に無断で利用することはできません。 ２　利用者による本サービスの利用により、これら一切の権利が利用者に譲渡又は移転されるものではありません。 第９条（クレジット表示） 利用者は、利用者運営サービスに本 API 提供情報を用いるときは、その提供元が J-STAGE であることを明示するものとして、「Powered by J-STAGE」とのクレジット表示を行うものとします。この場合、当該クレジット表示上に J-STAGE へのリンクを生成するものとし、利用者運営サービスと関連づけてはならないものとします。	
第８条 更新の義務 本 API 利用者は、本 API 提供情報の更新状況に常時留意し、常に J-STAGE 内の最新の情報を本 API 利用者のアプリケーション上またはアプリケーション内で表示するものとする。	第３条（利用条件）に移動	

第９条 免責事項 １．機構は、以下の項目について一切保証しない。 （１）本 API または本 API 提供情報の真実性、信用性、正確性、有用性、完全性、目的合致性 （２）本 API または本 API 提供情報の提供の継続性、安定性	第１０条（非保証） JST は、本サービスにより提供される情報について、その真実性、正確性、適合性、有用性、最新性等、いかなる保証もするものではありません。 2　JST は、本サービスにかかるシステムに不具合、エラー又は障害が発生しないことを含む本サービスの継続性、安定性、安全性等についても何ら保証しないものとします。 第１１条（免責） 利用者は、本サービスの利用に関し、全て自己の責任と判断で行うものとします。	
２．機構は、以下の各項目について本 API 利用者または第三者に生じた損害について一切責任を負わない。 （１）本 API の提供を停止、中断または終了したことにより生じた一切の損害 （２）本 API 提供情報の内容または当該情報を更新しなかったことにより生じた一切の損害 （３）本 API の利用または本 API 利用登録により生じた一切の損害 （４）本 API のシステムの障害により生じた一切の損害 （５）本 API 利用登録において、他人のメールアドレス等を登録したことにより生じた損害、登録したメールアドレス等を変更して変更前のメールアドレス等を第三者が登録したことにより生じた損害、その他登録情報に関連して生じた一切の損害	2　JST は、本サービスの利用に起因又は関連して発生した利用者の損害について賠償の責任を負う場合であっても、JST が賠償する損害の範囲は、JST に故意又は重大な過失がある場合を除いて、利用者に現実に生じた直接かつ通常の範囲の損害に限るものとします。 3　利用者は、本サービスの利用に関し第三者との間で紛争等が発生した場合、当該利用者の費用と責任において解決するものとし、JST は一切関知しないものとします。 4　利用者は、自らの費用と責任において通信環境その他利用者による本サービスの利用環境を整備するものとし、JST は、それらに関し一切関知せず、また一切の責任を負いません。	消費者契約法が適用されることによる改定（令和 5 年 6 月　改正消費者契約法施行）
	第１２条（確約事項） 利用者は、自身が暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標ぼうゴロ、特殊知能暴力集団、その他集団的に又は常習的に違法行為を行うことを助長するおそれがある団体もしくはかかる団体の構成員又はこれらに準ずると判断される者（以下、「反社会的勢力等」といいます。）に該当せず、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。 2　利用者は、反社会的勢力等と次のいずれの関係にも該当せず、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。 (1)　反社会的勢力等が自己の事業又は経営を支配していると認められること (2)　反社会的勢力等が自己の事業又は経営に実質的に関与していると認められること (3)　自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって反社会的勢力等を利用したと認められること (4) 反社会的勢力等に資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められること	

	（5）その他、自己の役員又は経営に実質的に関与している者が、反社会的勢力等と社会的に非難されるべき関係にあると認められること	
第１０条 本規約の変更 １．機構は、必要があると認めるときは、利用機関への事前の通知を行うことなく、本利用規約を改正することができる。 ２．機構は、本利用規約の改正を行った場合には、遅滞なく J-STAGE 上に掲載し、公表するものとする。 ３．本利用規約の公表後に本 API 利用者が本 API を使用したときは、改正後の利用規約に承諾したものとみなす。	第１３条（規約の変更） JST は、合理的に必要と判断したときは、発効日を定めて本規約を変更できるものとします。 2　前項の場合において、JST は、変更後の規約を本サービス上で公表、その他 JST が相当と認める方法で利用者に周知します。 3　利用者が本規約の変更に同意できない場合、当該利用者は本サービスの利用を終了することができますが、利用者が、かかる変更の発効日後に本サービスを利用した場合は、変更後の規約に同意したものとみなされます。	改正民法に合わせた改定。
第１１条 準拠法・管轄 本利用規約は日本法に準拠し、同法に基づき解釈される。また本サービスの利用に関する本 API 利用者と機構との間の紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。	第１４条（準拠法及び裁判管轄） 本規約は日本法に準拠し、同法に基づき解釈されます。また、本サービスの利用に関する一切の紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。	
（附則） 本規約は、平成２７年９月７日から施行する。 （附則） 本規約は、平成３０年５月１日から施行する。 平成２２年１０月２８日制定 平成３０年４月１９日改定 （平成３０年５月１日施行） 国立研究開発法人　科学技術振興機構（JST） 科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）	（附則） 本規約は、平成２７年９月７日から施行する。 （附則） 本規約は、平成３０年５月１日から施行する。 （附則） 本規約は、令和６年７月９日から施行する。 国立研究開発法人　科学技術振興機構（JST）	改定履歴は冒頭に記載することとする。